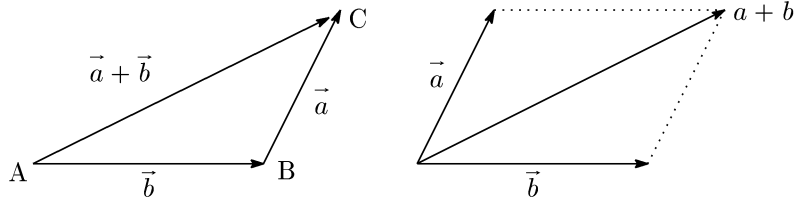


ベクトルの和

● ベクトルの和 ●

$$\vec{AB} + \vec{BC} = \vec{AC}$$

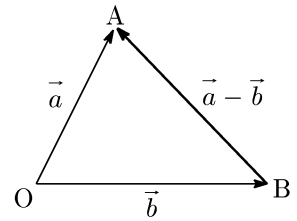


\vec{a} に対して、大きさが同じで、向きが反対であるベクトルを、 \vec{a} の 逆ベクトル といい、 $-\vec{a}$ で表す。
 $\vec{a} = \vec{AB}$ のとき、 $-\vec{a} = \vec{BA}$ より、 $\vec{BA} = -\vec{AB}$ 。また、 $\vec{a} + (-\vec{a}) = \vec{0}$ 、 $\vec{a} + \vec{0} = \vec{0} + \vec{a} = \vec{a}$ 。

ベクトルの差

● ベクトルの差 ●

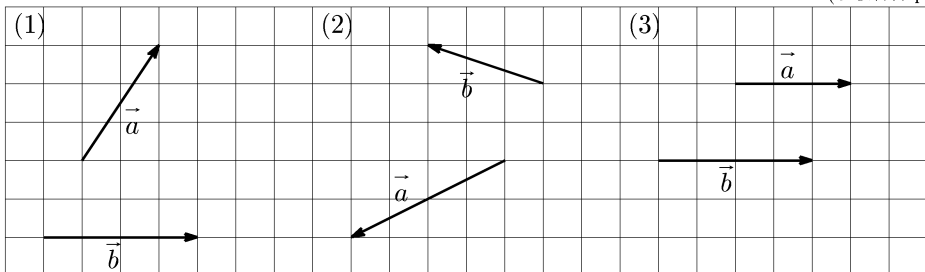
$$\vec{BA} = \vec{OA} - \vec{OB}$$



※なぜベクトルの差は図のようになるのか？

問題2 \vec{a} , \vec{b} が次のように与えられているとき、 $\vec{a} + \vec{b}$, $\vec{a} - \vec{b}$ をそれぞれ図示せよ。

(吉教科書 p.10 問 2, 3)



問題3 平行四辺形 ABCD において、 $\vec{AB} = \vec{a}$, $\vec{AD} = \vec{b}$ とするとき、次のベクトルを \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。

(吉教科書 p.11 練習 1)

